

national forest

埼玉県内の国有林

～ 埼玉森林管理事務所の概要～

令和8年度版



Kanto Regional Forest Office

林野庁関東森林管理局

Saitama District Forest Office

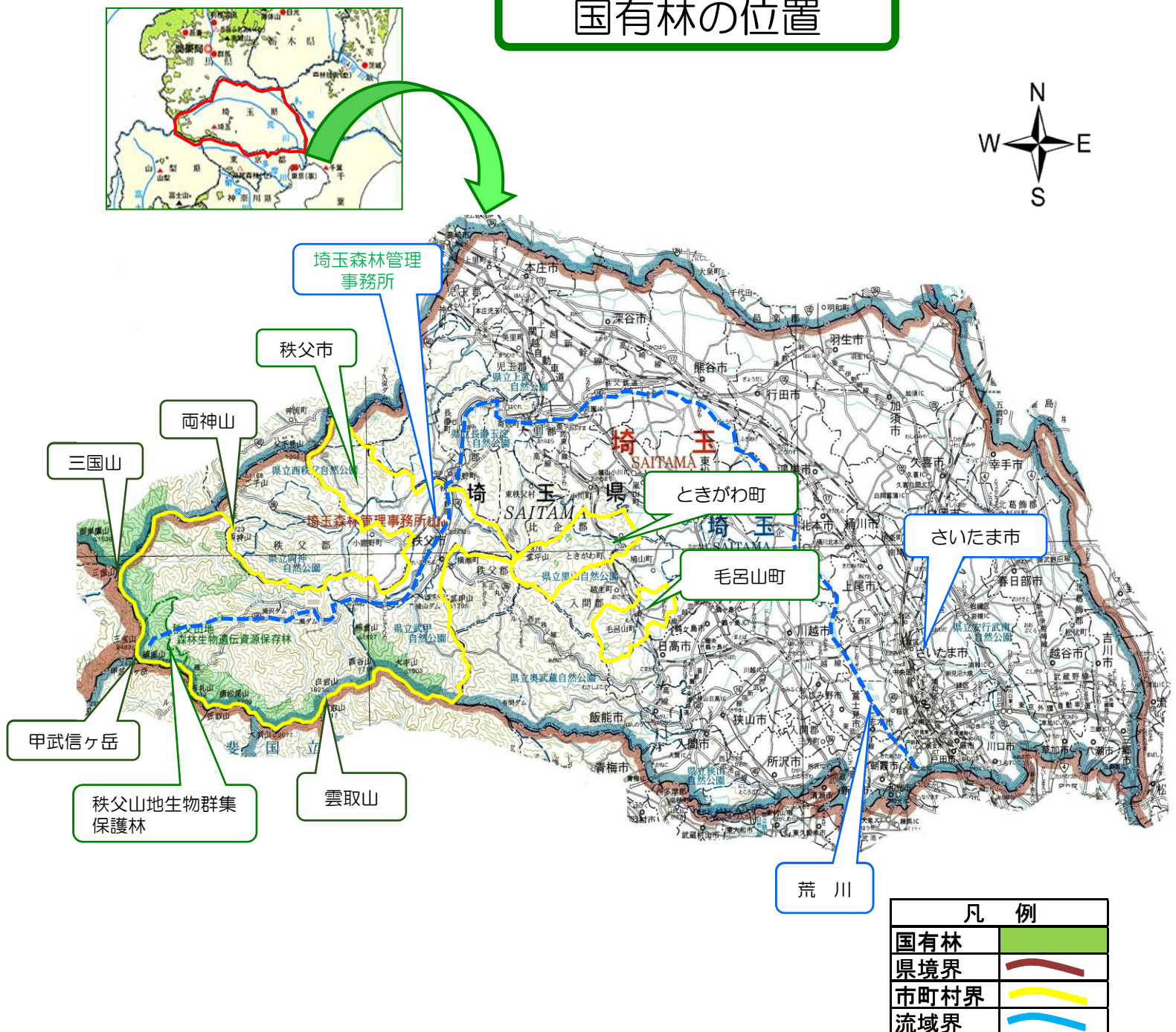
埼玉森林管理事務所

管理経営の基本は「公益的機能」の増進

埼玉森林管理事務所(以下「埼玉所」といいます。)では、秩父市、ときがわ町及び毛呂山町の1市2町に所在している林野庁所管の国有林(以下「国有林」といいます。)約1万2千haを管理経営しています。

埼玉所が管理経営している国有林は、雲取山、甲武信ヶ岳、三国山など2千メートル級の山々を含む地域に位置しています。また、その80%以上が秩父多摩甲斐国立公園にも指定されているほか、これらの地域は荒川とその支流の源流部に位置し、東京都をはじめとする首都圏の水源地として重要な役割を果たしています。

国有林の位置



機能類型にふさわしい森林の取扱い

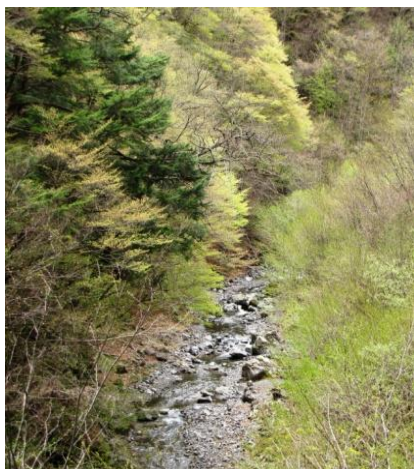
国有林野の管理経営に当たっては、公益重視の管理経営を一層推進するという方針の下、重視すべき機能に応じ、山地災害防止、自然維持、森林空間利用、快適環境形成、水源涵養の5タイプに区分し、公益林として管理経営に努めています。

埼玉所の管理している国有林の機能類型区分

機能類型区分	機能累計区分の考え方	管理経営の考え方	面積 (ha)
山地災害防止タイプ	山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林	根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持	674
自然維持タイプ	原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の成育・生息に適した森林の維持	7,503
森林空間利用タイプ	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成	—
快適環境形成タイプ	快適な環境の形成の機能の発揮を第一とすべき森林	汚染物質の高い吸着力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持	20
水源涵養タイプ	水源の涵養の機能の発揮を第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮	3,789

(注) 面積は、第6次国有林野施業実施計画書による。

機能類型毎の森林



水源涵養タイプ
秩父市中津川



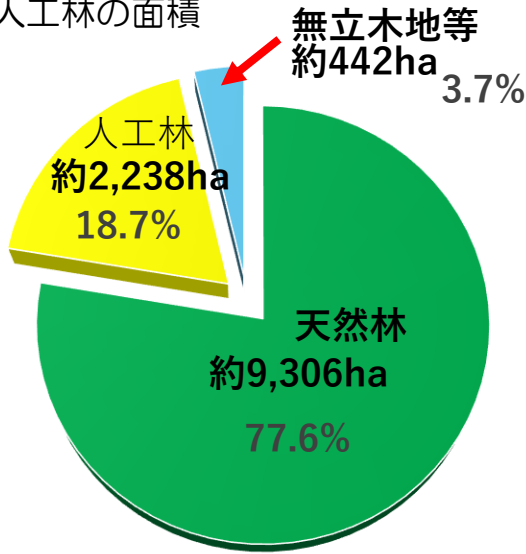
自然維持タイプ
荒川源流部に設定している「秩父山地生物群集保護林」
秩父市大滝



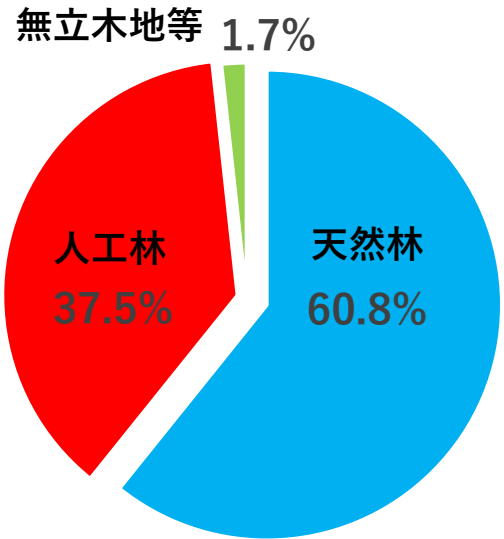
山地災害防止タイプ
秩父市中津川

埼玉森林管理事務所が管理する国有林の内訳

1 天然林・人工林の面積

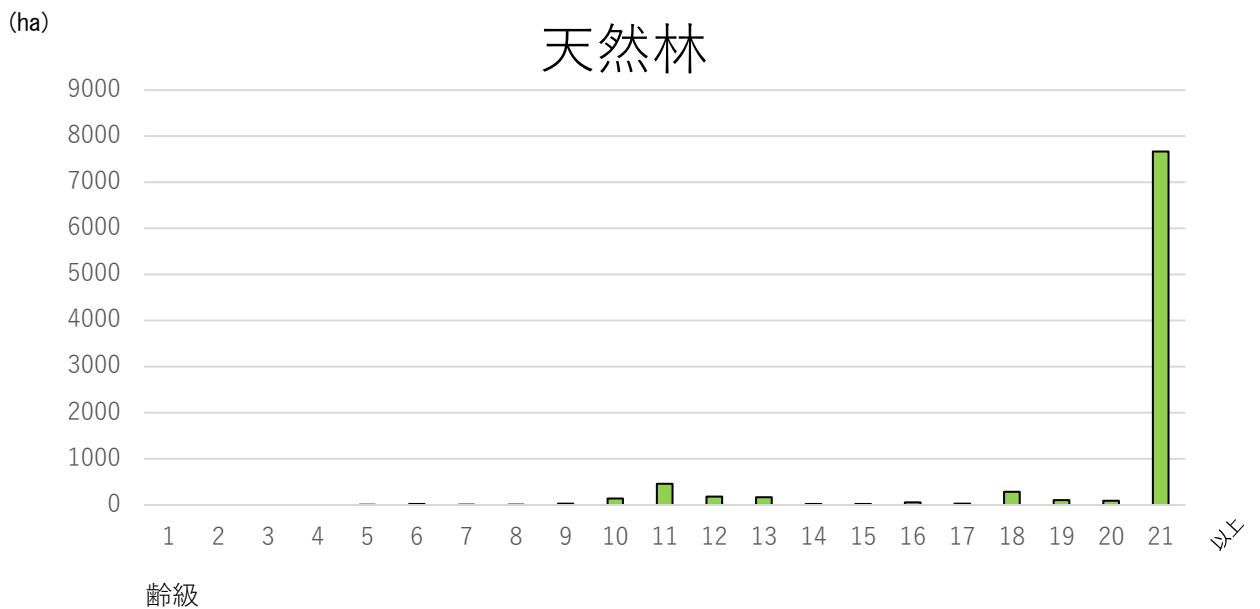
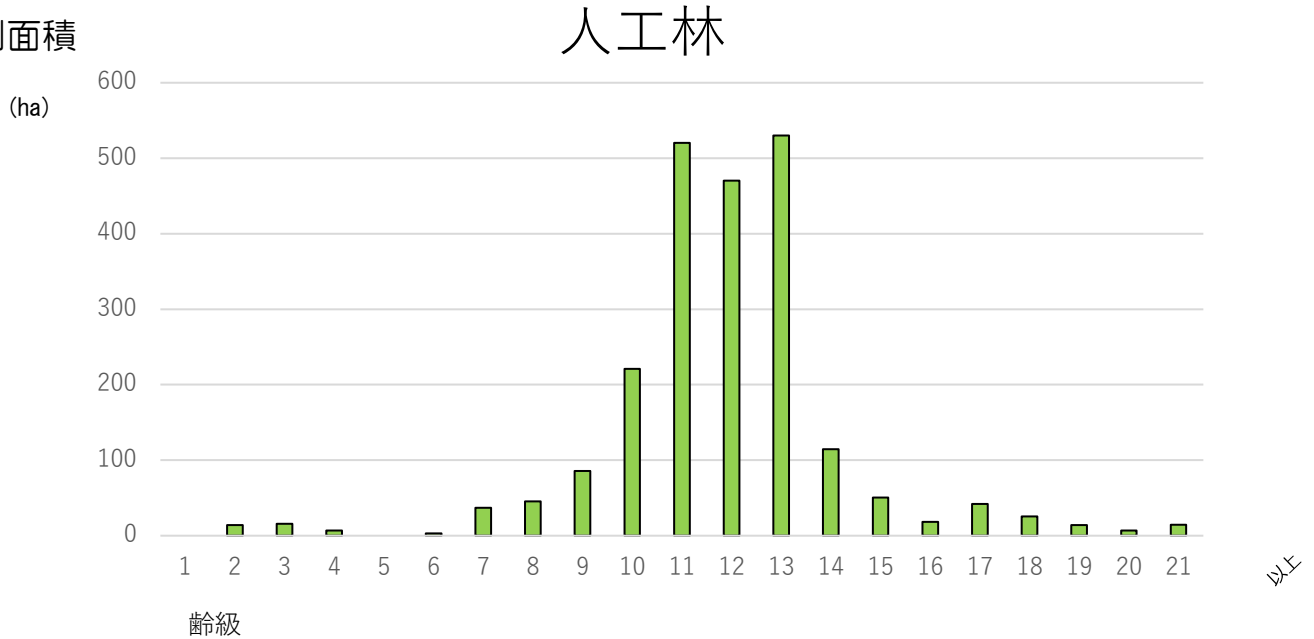


埼玉所が管理する国有林



秩父市全体の森林（国有林を含む。）

2 齢級別面積



注：「齢級」とは、林齢を5年単位で区分したもの。（例：Ⅰ齢級は1～5年生、Ⅱ齢級は6～10年生、以下同様）

森林の機能維持増進のための様々な取り組み

保安林の整備

水源のかん養、土砂の流出・崩壊の防備などが特に求められる森林は、保安林に指定し適切に管理しています。埼玉所管内の国有林は99%が保安林です。

この保安林の機能の維持や災害を未然に防止するため必要に応じ、治山ダムや山腹の土留などを行うなど、崩壊地等を元の森林に回復させるための工事を実施しています。

保安林の名称	面積 (ha)	面積率 (%)
水源かん養保安林	11,862	99
土砂流出防備保安林	106	1
保健保安林	3,062	26
保安林計	11,865	99

(注)複数の保安林に指定された箇所があります。



写真左:沢や谷の土砂の流出を防ぐ治山ダム(溪間工)



写真右:山腹の土留め工事(山腹工)

(写真はいずれも秩父市荒川田野:中川国有林)

保護林の指定

国有林では、貴重な野生動植物が生息・生育する森林などを保護林(林野庁独自の制度)に指定し、その保護・保全に努めています。

埼玉所管内の国有林は、原生的かつ多様な森林植生を有し、ニホンカモシカ、ニホンツキノワグマなど多くの哺乳類のほか、ワシタカ類、フクロウ類をはじめアカショウビンなど希少な鳥類も多数生息しています。このため、コメツガ、シラビソなど亜高山帯の希少な高山植物、学術上価値の高い樹木群など、地域固有の生物群集がまとまって存在する区域を「秩父山地生物群集保護林」に設定して保護・管理しています。

保護林等の名称	面積 (ha)	設定年度	面積率 (%)
秩父山地生物群集保護林	2,145	S47	18
秩父山地緑の回廊	6,453	H12	54

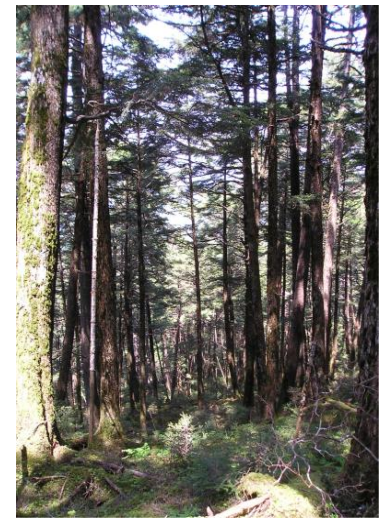
(注)面積率は、埼玉所の管理する国有林に占める保護林等の割合です。

～保護林とは～

原生的な天然林などを保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資することを目的としている国有林野のことです。



武州白岩から望む
(秩父山地生物群集保護林)



コメツガ、シラビソ等の針葉樹天然林
下層には稚樹が群生

生物多様性の高い森林整備

埼玉所管内の国有林は、貴重な野生動植物が生息・生育し、多様な森林生態系を維持しています。このため、野生生物の移動経路を確保し、生育・生息地の拡大と総合交流を促すため、既存の保護林をそれぞれ連結し、より広範囲な森林の連続性の確保と一層の生物多様性の維持・向上に資することを目的に「秩父山地緑の回廊」を平成12年に設定しました。この「緑の回廊」の管理にあたっては、地元NPO「秩父の環境を考える会」と連携・協力し、6回に渡り稜線部を中心に調査を実施しました。

その結果、動植物の生息状況やニホンカモシカによる食害の現状を把握できました。

「緑の回廊」が野生動植物にとって、良好な移動経路、生息・生育場所、採餌場所等となるよう、今後も適切な維持・管理に努めることとしています。



「秩父山地緑の回廊」内で確認されたツキノワグマ
(セサカマによる撮影)

流域を単位に民有林と連携した取組み

流域管理システムの推進

公益重視の管理経営を一層推進するには、民有林と同一の流域を基本的な単位として、民有林と国有林が協調して森林の整備や林業の活性化等に取り組む森林の流域管理システムの下で、流域の課題やニーズの的確な把握、森林計画等策定のための意見調整等について民有林関係者などと連携して推進する必要があります。

このため、民有林行政関係者も参加した会議や検討会等を開催し、流域内の課題について意見や情報の交換を行うとともに、地域の森林・林業関係者の参加を得て行う森林施業技術の向上や間伐材の利用促進のための研修会の開催、国有林野の有する特性を活かしつつ、民有林関係者との一層の連携を推進しています。

◇森林の現況

(単位:面積・ha、率・%)

市町村名	区域面積	森林面積			森林率	市町の森林面積に占める国有林の面積率
		国有林	民有林	森林面積計		
秩父市	57,783	11,890	38,388	50,278	87	23.6
毛呂山町	3,407	25	1,412	1,437	42	1.7
ときがわ町	5,590	70	3,740	3,810	68	1.8
計	66,780	11,986	43,540	55,526	84	21.6

(注) 各項目毎に小数点以下を四捨五入しているため計が一致しない場合があります。

課題への取組み

◇森林の保全と森林整備の推進

森林の有する国土の保全や水源かん養機能、二酸化炭素の吸収・固定などの機能を総合的に高度に発揮させるため、適正な森林施業の実施により健全な森林の維持・造成を推進することとしています。しかしながら、ニホンシカなどの動物による樹木の樹皮の食害等による森林被害が問題となっています。

このため、植栽箇所にはニホンシカなどの侵入を防ぐための防護柵を設置するなどとして、獣害対策に取り組んでいます。



獣害対策現地検討会（秩父市大滝：入山国有林）

◇森林・林業の再生に向けた取組み

公益重視の管理経営の一層の推進や間伐等の森林整備と木材の有効活用、治山事業を着実に進めていきます。



地元材を活用した埼玉森林管理事務所の庁舎
(秩父市大野原)



曲がった木や成長の悪い木を間伐して手入れを行ったヒノキの林
(秩父市荒川上田野：中川国有林)



間伐材を使用した治山工事
(秩父市荒川上田野：中川国有林)

また、貴重な動植物が暮らす森を守り、活用し、生物多様性の保全を図るなど、様々な取組をしていくこととしています。

「国民の森林(もり)」にふさわしい管理経営

◇ふれあいの森

埼玉所では、「緑づくりに参加してみたい」「地球環境の保全に貢献したい」などの声にお応えして、ボランティア活動のフィールドを提供しています。三境・浦山国有林では「体験林業」の一環として、ボランティアによる森林整備（間伐や下草刈など）に取り組んでいます。



三境国有林でのボランティアによる森林整備活動

◇森林・林業の普及・啓発活動

埼玉所では、森林・林業への理解を深めていただくため、地元の各機関や団体とも連携し、地域の皆さんを対象とした木工・森林教室などを開催し、普及や啓発活動に取り組んでいます。



【小学生を対象とした森林教室】



【小学生を対象とした森林教室】



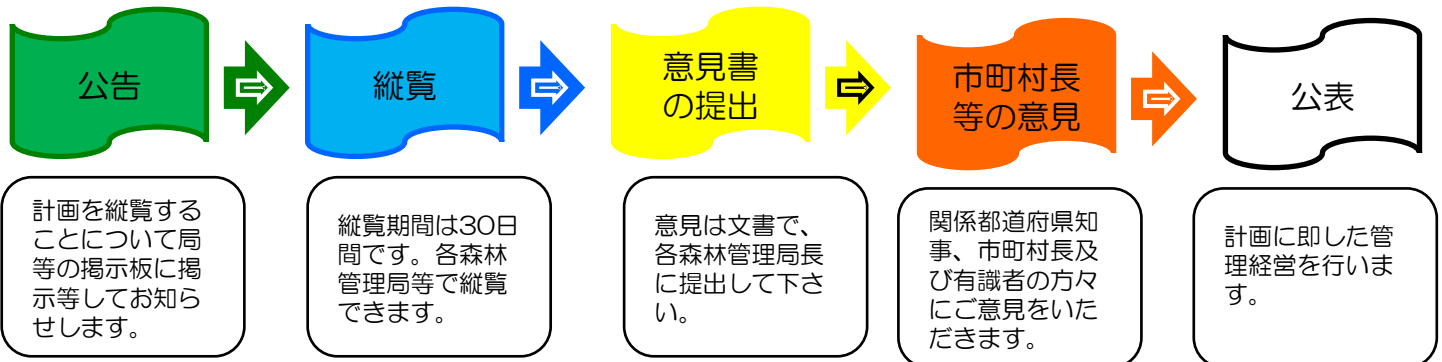
【木が香る秩父フェスティバル】

◇計画の閲覧等

国有林の管理経営は、地域管理経営計画などの計画に基づいて行います。計画の策定の際には、公告、縦覧等により国民の皆さんや市町村など関係行政機関のご意見を予めお伺いし、反映するよう努めています。

～計画策定の流れ～

☆地域管理経営計画 ☆国有林施業実施計画



◇森林・林業に関する情報・サービス提供

国有林の管理経営に当たっては、「国民の森林」にふさわしい、国民の皆さんに開かれた管理経営を目指します。このため、森林計画の案の公表、意見の聴取や管理経営状況の公表をはじめ、森林・林業に関する情報・サービスの提供に努めているところです。

(参考) 国有林や国有林の取組み内容等の情報は、関東森林管理局ホームページ「<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>」や林野庁ホームページ「<http://www.rinya.maff.go.jp/>」でも公開しています。

主 要 事 業

事業区分	単位	令和6年度 (当初予定)	令和7年度 (当初予定)	令和8年度 (当初予定)	
森林整備					
うち、地拵	ha	7.30	-	3.18	
植付	ha	3.22	0.96	-	
下刈	ha	7.30	5.22	5.22	
収穫量	m ³	10,388	12,930	10,568	
うち、主伐	m ³	9,614	12,156	9,794	
間伐	m ³	774	774	774	
林産物販売量	m ³	1,873	2,967	2,967	
うち、製品	m ³	1,600	2,967	2,967	
治山					
うち、溪間工	箇所	-	-	1	
山腹工	箇所	-	-	-	
保安林整備	ha	-	-	-	
予防治山	箇所	1	1	-	
調査設計	箇所	-	-	-	
林道	路線	1	2	3	
うち、新設等	路線	1	-	-	
調査設計	路線	-	-	2	
災害復旧	路線	-	2	1	



伐倒作業

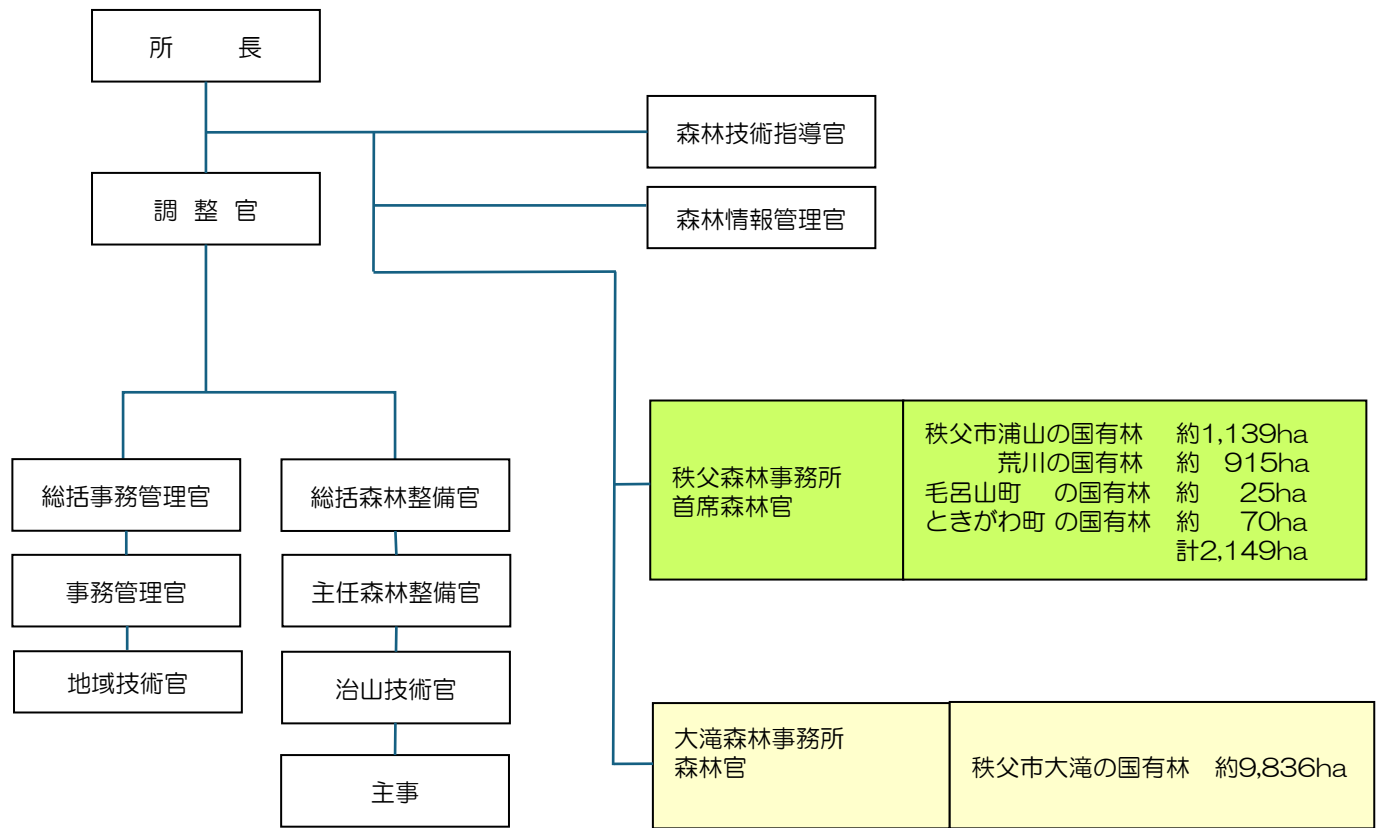


集材作業



造材作業

埼玉森林管理事務所の組織



各森林事務所の管轄区域



埼玉森林管理事務所の沿革

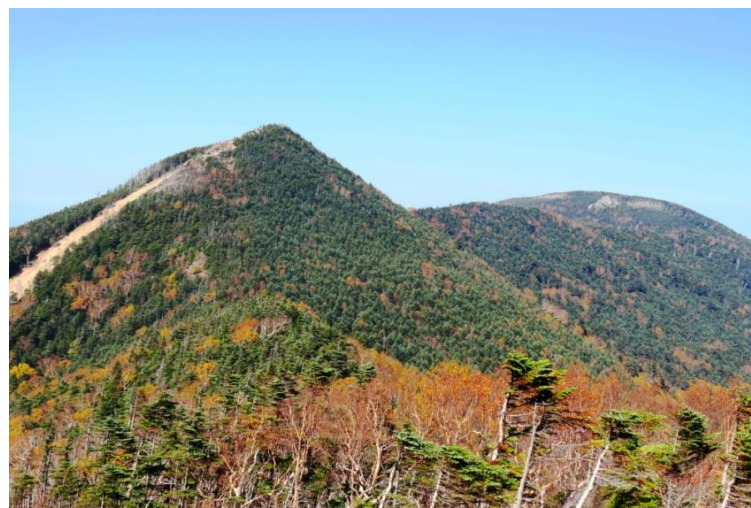
年	内 容
明治22年(1889年)	東京大林区署秩父派出所として設置
明治24年(1891年)	秩父小林区署に改称
明治40年(1907年)	浦和小林区署を統合し、埼玉県一円を管轄
大正13年(1924年)	秩父小林区署を秩父営林署に改称
昭和27年(1952年)	庁舎落成（秩父市野坂町）
平成11年(1999年)	組織の再編により埼玉森林管理事務所と改称
平成15年(2003年)	秩父市大野原に新庁舎完成
平成16年(2004年)	関東森林管理局東京分局の廃止に伴い、関東森林管理局に改編
平成25年(2013年)	国有林野事業が特別会計から一般会計に移行
令和6年(2024年)	派出所設置から135年目



秩父市吉田の城峯山からの展望（武甲山—雲取山—甲武信ヶ岳—両神山）



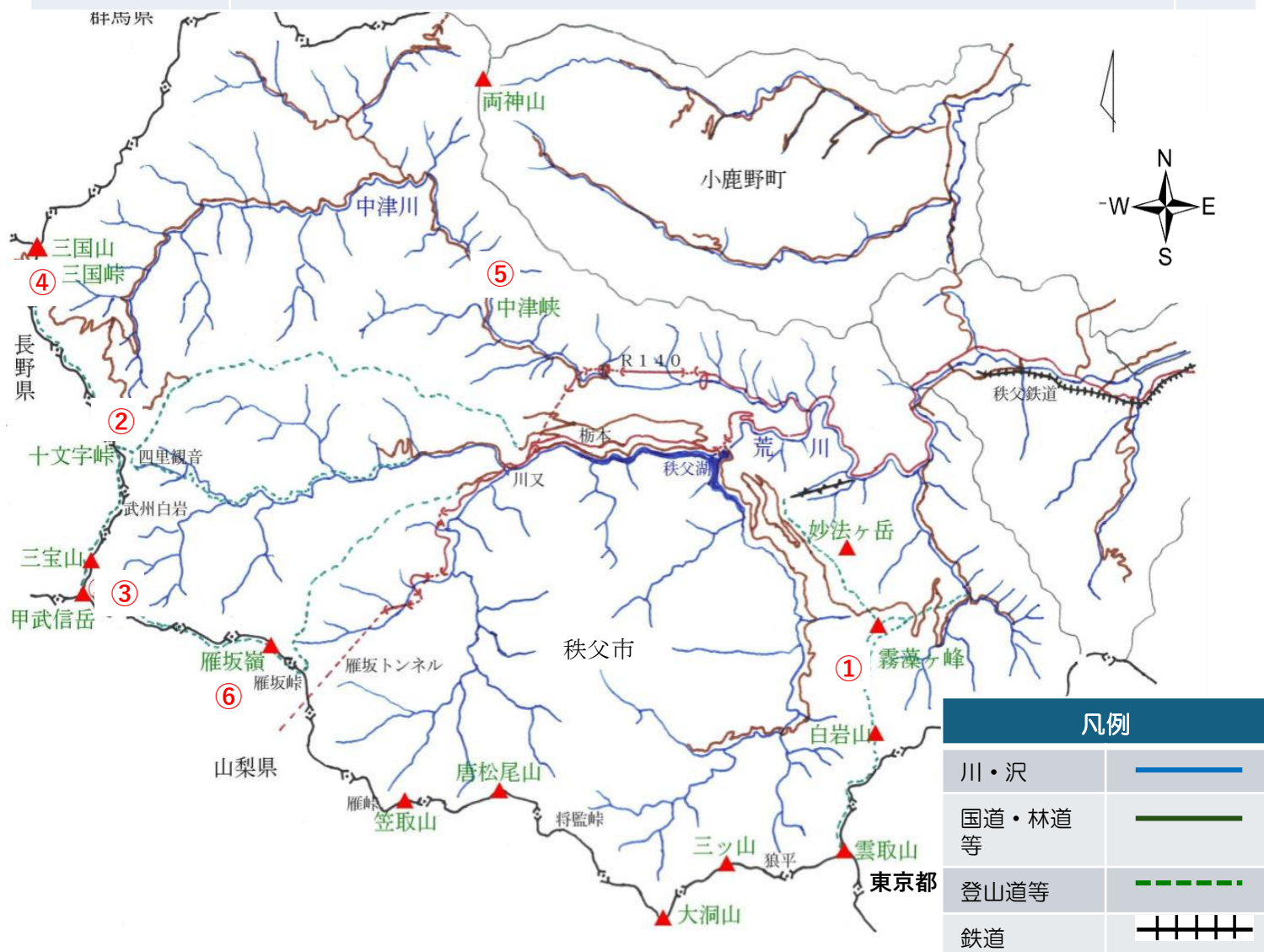
雲取山から富士山を望む



木賊山から甲武信ヶ岳、三宝山

秩父地域の主要な山岳など

名称	特徴	番号
三峰山	雲取山、白岩山、妙法ヶ岳の三山の総称で、6月上旬に霧藻ヶ峰で山開き。日本百名山の一つにもなっている雲取山は標高2,017m。雲取山山頂からは、天候に恵まれれば富士山や南アルプスの山脈を望むことができる。	①
十文字峠	中津川と長野県の千曲川を結ぶ峠で、古くから人の往来が盛んであった。峠にはアズマシャクナゲの群落があり、6月上旬が見頃。	②
甲武信ヶ岳 (標高2,475m)	埼玉、長野、山梨の3県境に跨り、日本百名山の一つに数えられている。本来の名称は拳岳であるが、山梨県(甲斐)、埼玉県(武蔵)、長野県(信濃)の境界にあることから、甲武信ヶ岳の名称があてられた。甲武信ヶ岳直下に「荒川源流点の碑」がある。 なお、埼玉県最高峰は、隣接する三宝山(2,483m)。	③
三国峠	秩父市道17号線終点、長野県境に位置する峠で長野県側の眺めが特に素晴らしく、八ヶ岳の雄姿を間近に眺められるほか、埼玉県側は中津川の峡谷を介して両神山が望める。	④
中津峡	荒川の支流中津川のほぼ中央部に位置し、高さ100m程度の断崖絶壁が約10kmにも及ぶ中津峡谷の中核部。奇岩や溪流が周囲の天然林と調和した景観は素晴らしく、春の新緑、夏の清流、秋の紅葉、冬の氷壁と四季を通じた眺望が楽しめる。	⑤
雁坂峠 (標高2,082m)	三伏峠(南アルプス、2,580m)、針ノ木峠(北アルプス、2,541m)とともに日本三大峠のひとつ。歴史は古く、日本書紀景行記に日本武尊が蝦夷の地平定のために利用した道と記されていることから、日本最古の峠道といわれている。 さらに秩父往還と呼ばれたこの道は、秩父観音霊場巡拝の道として多くの人々が通り、江戸時代から大正までは秩父市大滝の繭を甲州市上於曾の繭取引所に運ぶ交易の道としても利用された。	⑥



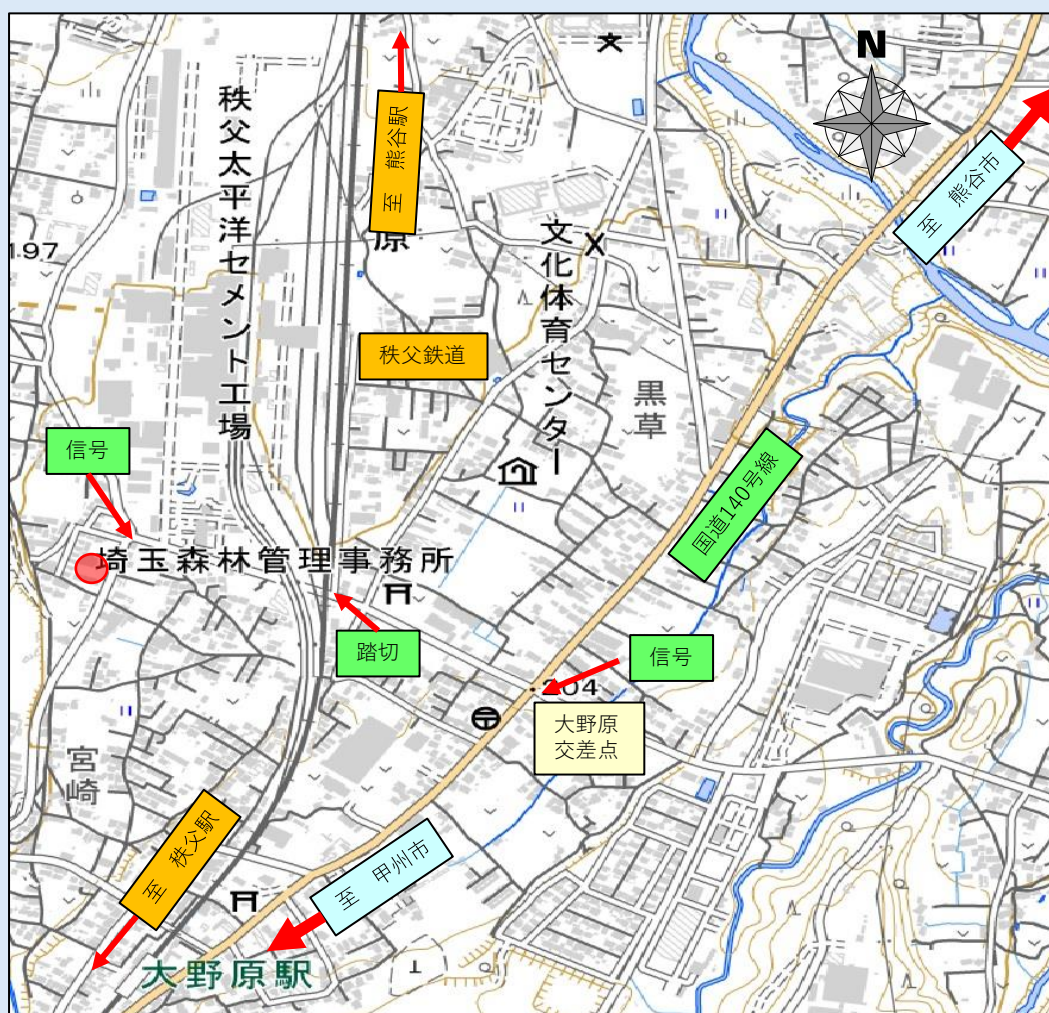
お問い合わせ先・緑の相談窓口

埼玉森林管理事務所

秩父市大野原491-1 ☎0494-23-1260

秩父森林事務所

大滝森林事務所



国民の森林・国有林

埼玉森林管理事務所 Saitama District Forest Office

所在地：埼玉県秩父市大野原491-1

TEL：0494-23-1260

メール：ks_saitama_postmaster@rinya.maff.go.jp